Japanese Journal of Applied Psychology
2017, Vol. 43, No. 1, 101–106

2016年度　理事会：議事録

日　　時：2016年8月31日（水）14時00分～17時00分
場　　所：札幌市立大学　管理実習棟2階大会議室
出 席 者：藤田主一理事長，谷口泰富副理事長
伊坂裕子，市川優一郎，浮谷秀一，臼井伸之介，角山剛，上瀬由美子，軽部幸浩，川名好裕，北川公路，木村友昭，沢宮容子，大坊郁夫，田中真介，谷口淳一，外島裕，内藤哲雄，深澤伸幸，古屋健，松田浩平，森脇保彦，八木善彦，蓮花一己（五十音順）
小林剛史（心理学検定常任運営委員）
山本勝則（第83回大会委員長）
名誉会員：長塚康弘，森下高治，山岡　淳
事 務 局：（事務局長）宇部弘子，（事務局幹事）福場久美子

（敬称略）

報告事項

Ⅰ　理事長挨拶（藤田主一理事長）
- 理事会に出席された諸先生および，本大会を開催するにあたり，ご尽力いただいた諸先生へ感謝の言葉が述べられた。
- この1年間にご逝去された名誉会員の恩田彰先生，大村政男先生に哀悼の誠が捧げられた。

Ⅱ　第83回大会委員長挨拶（山本勝則大会委員長）
- 明日から開催される日本応用心理学会第83回大会への意気込みが述べられた。

Ⅲ　出席者自己紹介
- 理事会に出席された先生方の自己紹介が行われた。

Ⅳ　報告事項

1. 事業報告

(1) 会員の異動および会費納入状況（宇部弘子事務局長）
- 2016年8月22日現在の会員数は1,306名，2016年度会費納入率は66％である。

(2) 委員会報告

1) 機関誌編集委員会（深澤伸幸委員長）
- 『応用心理学研究』第41巻第3号は，6月末に刊行した。
- 『応用心理学研究』第42巻第1号は，8月末に刊行した。
- 『応用心理学研究』第42巻第2号では，東京未来大学にて開催された公開シンポジウムを誌上公開する予定である。
- 現在査読中の論文は16本で，査読作業は迅速かつ順調に進んでいる。

2) 企画委員会（角山剛委員長）
- 日本応用心理学会第82回大会では，研修会A（講演者：井上孝代），研修会B（講演者：竹内倫和）が実施された。
- 東京未来大学において2015年12月12日（土）に公開シンポジウム（題目：応用心理学の未来～実社会との連携活動を目ざして～）を行った。
- 日本応用心理学会第83回大会では，研修会A（講演者：岩見広一），研修会B（講演者：小野公一）を企画している。
- 平成28年度公開シンポジウムは現在調整中である。

3) 広報委員会（田中真介委員長）
- 現在，東京・八丁堀「もがみ紙工」に印刷・製本を委託している。
- 学会ホームページのサーバーを「サーバーカウボーイ」から，新規に「ファーストサーバー」社へ移行した。
- 今大会において発表される諸先生へ取材を行う予定である。
- メールニュース，フェイスブックにて広報活動を行っている。

4) 「応用心理士」認定審査委員会（外島裕委員長）
- 前年度の後期は3名認定，今年度前期2名の申請があり，全員が認定された。
- 認定条件見直しの必要性が述べられた。

5) 国際交流委員会（蓮花一己委員長）
- 2014年国際応用心理学会の発表論文に基づく『応用心理学研究英文特集号』の審査が終了し，発刊した。
- 第31回国際心理学会において，本学会は日本交通心理学会と共催で，シンポジウムを企画した。

・第29回国際応用心理学会は，2018年6月26日〜30日に，カナダ・モントリオールにおいて開催される。

6) 学会賞選考委員会（優秀大会発表賞を含む）（伊坂裕子委員長）

・学会賞，奨励賞は，選考の結果，下記の通り決定した。

【学会賞】（論文賞）

掲載誌：『応用心理学研究』Vol. 41 No. 1

論文名：化粧が対人印象に及ぼす影響―顔形態とメイクの差異による印象操作の実証的研究―

著　者：九島紀子・齊藤勇

【学会賞】（奨励賞）

掲載誌：『応用心理学研究』Vol. 41 No. 1

論文名：大学生における街中での異性関係開始―男女間の相互作用に着目して―

著　者：仲嶺真

・総説論文を奨励賞の対象とする。

・日本応用心理学会第82回大会，優秀大会発表賞をホームページで公開している。

・優秀大会発表賞の投票率をあげるため，投票用紙の書式変更について説明があった。

7) 学会活性・研究支援委員会（古屋健委員長）

・審議事項で提案する。

8) 倫理委員会（谷口泰富委員長）

・倫理に関する問題は発生していない。

・文部科学省よりヒトを対象とする倫理の徹底が指摘されているため，本学会でも倫理を厳重に審査する必要がある。

・山本勝則大会委員長が中心となり，日本応用心理学会第83回大会発表論文集原稿を倫理チェックした旨の説明があった。

9) 齊藤勇記念出版賞選考委員会（谷口泰富委員長）

・選考の結果，下記のとおり決定した。

【齊藤勇記念出版賞】

書　籍：香りや見た目で脳を勘違いさせる毎日が楽しくなる応用心理学

著　者：坂井信之

発行所：かんき出版

2. 日本心理学諸学会連合について（谷口泰富担当理事）

・公認心理師法の施行スケジュールについて説明があった。

・昨年度，一般社団法人へ変更した。法人化記念シンポジウムが9月19日（月）14〜17時に，東京大学伊藤国際学術研究センター伊藤謝恩ホールで開催される。

3. 心理学検定について（代読：宇部事務局長）

・団体申込みは20名以上であり，受検料は1人一律1,000円割引となる。

・受検者数は毎年増加している。

・第8回心理学検定の受検申込者数は4,188名，受検者は3,668名であり，1級合格者は653名，2級合格は1,028名である。級なしが1,589名であった。

・2015年9月現在までの特1級の認定者は405名である。

・第9回心理学検定の受検申込者数は4,602名であった。

4. 学会史編纂委員会の新設について（藤田主一理事長）

・日本応用心理学会の歴史を資料として保存する目的で，委員会の立ち上げをした旨が説明された。この件は理事会にて承認された。

・取りまとめは藤田主一理事長が行う。

5. 日本心理研修センターへの寄付について（藤田主一理事長）

・日本応用心理学会からの寄付に対し，礼状が届いた旨の報告があった。

6. トランクルームの賃借について（宇部弘子事務局長）

・日本応用心理学会の資料等を保管する場所として，レンタルトランクルームを活用している旨の説明があった。

7. 熊本地震について（藤田主一理事長）

・日本応用心理学会第83回大会の会場で募金箱を設置する。集まった募金の活用方法については，今後検討する。

8. 名誉会員推挙について（藤田主一理事長）

・該当者なし。

・名誉会員規程の確認があった。

9. 2015年度第82回大会報告（角山剛大会委員長）

・収入と支出の報告があった。

10. その他
・特になし。

V　審議事項

1. 2015 年度決算に関する件（宇部弘子事務局長）
・決算書（案）の収入，支出の説明があった。
・加藤博己監事，田之内厚三監事より監査済みである。
・加藤博己監事の監査結果の報告書を藤田主一理事長が代読した。
・審議の結果，2015 年度決算書(案）が承認された。

2. 2016 年度予算に関する件（宇部弘子事務局長）
・予算書(案）の収入，支出の説明があった。
・審議の結果，2016 年度予算書(案）が承認された。

3. 機関誌・大会発表論文集の電子化・公開の件（藤田主一理事長）
・審議の結果，「機関誌」「大会発表論文集」の電子化，公開が承認された。

4. 若手研究者助成制度の件（古屋健委員長）
・日本応用心理学会若手会員研究奨励賞概要(案)，応募用紙，規程(案）の説明があった。
・関連するテーマで過去に学会発表，論文発表等の業績を応募書類と共に提出する。
・審議の結果，若手研究奨励賞の方針が承認された。

5. 2018 年度第 85 回大会（大会当番機関）に関する件（藤田主一理事長）
・理事長より，大阪大学で開催する旨が説明され，承認された。
・臼井伸之介大会委員長より，大阪大学吹田キャンパスにて開催予定である旨の説明があった。

VI　2017 年度第 84 回大会委員長挨拶（古屋健大会委員長）
・立正大学品川キャンパスにて開催予定であり，大会日程は 8 月 26, 27 日を予定している。

2016 年度　総会：議事録

日　　時：2016 年 9 月 1 日(木）11 時 45 分～13 時 00 分
場　　所：札幌市立大学　大学院棟 1 階　大講義室

I　理事長挨拶（藤田主一理事長）
・会員の諸先生，本大会を開催するにあたり，ご尽力いただいた諸先生へ感謝の言葉が述べられた。
・この 1 年間にご逝去された名誉会員の恩田彰先生，大村政男先生に哀悼の誠が捧げられた。

II　第 83 回大会委員長挨拶（山本勝則大会委員長）
・会員へ感謝の意が述べられた。

III　議長選出（宇部弘子事務局長）
・山本勝則大会委員長を議長として選出した。

IV　報告事項

1. 事業報告

(1) 会員の異動および会費納入状況（宇部弘子事務局長）
・2016 年 3 月 31 日現在の会員数は 1,283 名である。
・2016 年 8 月 22 日現在の会員数は 1,306 名である。
・会員数の推移として入会者 60 名，退会者 37 名であり，年間の増減数は 23 名の増加であった。

(2) 委員会報告

1) 機関誌編集委員会（深澤伸幸委員長）
・『応用心理学研究』第 41 巻第 3 号は，6 月末に刊行した。
・『応用心理学研究』第 42 巻第 1 号は，8 月末に刊行した。
・現在査読中の論文は 16 本で，査読作業は迅速かつ順調に進んでいる。

2) 企画委員会（角山剛委員長）
・日本応用心理学会第 82 回大会では，研修会 A（講演者：井上孝代），研修会 B（講演者：竹内倫和）を行った。
・東京未来大学において 2015 年 12 月 12 日（土）に公開シンポジウム（題目：応用心理学の未来～実社会との連携活動を目ざして～）を行った。
・日本応用心理学会第 83 回大会では，研修会 A（講演者：岩見広一），研修会 B（講演者：小野公一）を企画している。
・平成 28 年度公開シンポジウムは現在調整中である。

3) 広報委員会（田中真介委員長）
・大会期間中に諸先生へ取材を行う予定である。

・ホームページの作成，メールニュースの配信等を行っている。

4)「応用心理士」認定審査委員会（外島裕委員長）

・前年度の後期は3名認定，今年度前期2名の申請があり，全員が認定された。

・「応用心理士」の上位資格を新設を検討する。

5) 国際交流委員会（蓮花一己委員長）

・2014年国際応用心理学会の発表論文に基づく『応用心理学研究英文特集号』の審査が終了し，発刊した。投稿論文数14本のうち，採択数は9本，不採択4本，取下げ1本であった。

・第31回国際心理学会において，本学会は日本交通心理学会と共催で，シンポジウムを企画した。

・第29回国際応用心理学会は，2018年6月26日～30日に，カナダ・モントリオールにおいて開催される。

6) 学会賞選考委員会（優秀大会発表賞を含む）（伊坂裕子委員長）

・学会賞，奨励賞は，選考の結果，下記の通り決定した。

【学会賞】（論文賞）

掲載誌：『応用心理学研究』Vol. 41 No. 1

論文名：化粧が対人印象に及ぼす影響―顔形態とメイクの差異による印象操作の実証的研究―

著　者：九島紀子・齊藤勇

【学会賞】（奨励賞）

掲載誌：『応用心理学研究』Vol. 41 No. 1

論文名：大学生における街中での異性関係開始―男女間の相互作用に着目して―

著　者：仲嶺真

・総説論文を奨励賞の対象とする。

・日本応用心理学会第82回大会，優秀大会発表賞をホームページで公開しており，大会懇親会で表彰する。

・大会期間中の優秀大会発表賞への投票依頼があった。

7) 学会活性・研究支援委員会（古屋健委員長）

・審議事項で提案する。

8) 倫理委員会（谷口泰富委員長）

・平成27年度から本日の総会の間，倫理に関する問題は発生していない。

・文部科学省よりヒトを対象とする倫理の徹底が指摘されているため，本学会でも倫理を厳重に審査する必要がある。

・山本勝則大会委員長が中心となり，日本応用心理学会第83回大会発表論文集原稿を倫理チェックをした旨の説明があった。

9) 齊藤勇記念出版賞選考委員会（谷口泰富委員長）

・選考の結果，下記のとおり決定した。

【齊藤勇記念出版賞】

書　籍：香りや見た目で脳を勘違いさせる毎日が楽しくなる応用心理学

著　者：坂井信之

発行所：かんき出版

2. 日本心理学諸学会連合について（谷口泰富担当理事）

・公認心理師法の施行スケジュールについて説明があった。

・昨年度，一般社団法人へ変更した。法人化記念シンポジウムが9月19日（月）14～17時に，東京大学伊藤国際学術研究センター伊藤謝恩ホールで開催される。

3. 心理学検定について（小林剛史常任運営委員）

・受検者数は毎年増加している。

・今年度から受検料の変更があった。

・第8回心理学検定の受検申込者数は4,188名であり，第9回心理学検定の申込者数は4,602名であった。

・日本応用心理学会の入会資格と心理学検定との関係についての説明があった。

4. 学会史編纂委員会の新設について（藤田主一理事長）

・日本応用心理学会の歴史を資料として保存する目的で，委員会の立ち上げをした旨が説明された。

5. 日本心理研修センターへの寄付について（藤田主一理事長）

・日本応用心理学会からの寄付に対し，礼状が届いた旨の報告があった。

6. トランクルームの賃借について（宇部弘子事務

局長）

・日本応用心理学会の資料等を保管する場所として，レンタルトランクルームを活用している旨の説明があった。

7. 熊本地震について（藤田主一理事長）

・日本応用心理学会第 83 回大会の会場で募金箱を設置した。集まった募金の活用方法は今後検討する。

8. 2015 年度第 82 回大会報告（角山剛大会委員長）

・収入と支出の報告があった。

9. その他

・特になし。

Ⅴ　審議事項

1. 2015 年度決算に関する件（宇部弘子事務局長）

・決算書(案）の収入，支出の説明があった。

・加藤博己監事，田之内厚三監事より監査済みである。

・加藤博己監事の監査結果の報告書を浮谷秀一理事が代読した。

・審議の結果，2015 年度決算書(案）が承認された。

2. 2016 年度予算に関する件（宇部弘子事務局長）

・予算書(案）の収入，支出の説明があった。

・審議の結果，2016 年度予算書が承認された。

3. 機関誌・大会発表論文集の電子化・公開の件（藤田主一理事長）

・審議の結果，「機関誌」「大会発表論文集」の電子化，公開が承認された。

4. 若手研究者助成制度の件（古屋健委員長）

・日本応用心理学会若手会員研究奨励賞概要(案)，応募用紙，規程(案）の説明があった。

・関連するテーマで過去に学会発表，論文発表等の業績を応募書類と共に提出する。

・若手研究奨励賞の方針について説明があり，審議の結果，承認された。

5. 2018 年度第 85 回大会（大会当番機関）に関する件（藤田主一理事長）

・理事長より，大阪大学で開催する旨が説明され，承認された。

・臼井伸之介大会委員長より，大阪大学吹田キャンパスにて開催予定である旨の説明があった。

Ⅵ　議長退任

・山本勝則大会委員長が議長を退任した。

Ⅶ　学会賞の表彰（宇部弘子事務局長）

・受賞者が欠席のため後日，賞状・賞金を郵送する。

Ⅷ　齊藤勇記念出版賞の表彰（藤田主一理事長）

・坂井信之氏に齊藤勇記念出版賞が授与された。

Ⅸ　2017 年度第 84 回大会委員長挨拶（古屋健大会委員長）

・立正大学品川キャンパスにて開催予定である。大会日程は 8 月 26, 27 日を予定している。

2016 年度　第 3 回常任理事会：議事録

日　　時：2016 年 9 月 2 日（金）12 時 00 分～13 時 00 分

場　　所：札幌市立大学　管理実習棟 2 階大会議室

常任理事：藤田主一理事長，谷口泰富副理事長
伊坂裕子，角山剛，田中真介，外島裕，深澤伸幸，古屋健，蓮花一己
小林剛史（心理学検定常任運営委員）
山本勝則（第 83 回大会委員長）
軽部幸浩（広報委員会副委員長）

事 務 局：（事務局長）宇部弘子，（事務局幹事）福場久美子（敬称略）

Ⅰ　報告事項

1. 理事長挨拶（藤田主一理事長）

・常任理事会の出席者へ感謝の言葉が述べられた。

・軽部幸浩広報委員会副委員長は，機関誌，大会発表論文集の電子化，公開がされるまで，常任理事会に出席する旨の説明があった。

2. 各委員会報告

1) 機関誌編集委員会（深澤伸幸委員長）

・特になし。

2) 企画委員会（角山剛委員長）

・公開シンポジウムは，11 月 19 日（土）か 20 日（日）を検討している。

3) 広報委員会（田中真介委員長）

・特になし。

4)「応用心理士」認定審査委員会（外島裕委員長）

・特になし

5) 国際交流委員会（蓮花一己委員長）
・特になし。
6) 学会賞選考委員会（優秀大会発表賞を含む）（伊坂裕子委員長）
・優秀大会発表賞への投票依頼があった。
・優秀大会発表賞の集計結果は，次回の常任理事会で提案する。
7) 学会活性・研究支援委員会（古屋健委員長）
・若手研究奨励賞の応募書類の郵送先は，日本体育大学内日本応用心理学会事務局宛とし，まとめて古谷健委員長へ郵送する。
8) 倫理委員会（谷口泰富委員長）
・特になし。
9) 齊藤勇記念出版賞選考委員会（谷口泰富委員長）
・特になし。
10) 学会史歴史編纂委員会（藤田主一理事長）
・特になし。

3. 日本心理学諸学会連合について（谷口泰富担当理事）
・特になし。
4. 心理学検定について（小林剛史常任運営委員）
・特になし。
5. 2016 年第 83 回大会について（山本勝則大会委員長）
・特になし。
6. 2017 年第 84 回大会について（古屋健大会委員長）
・特になし。
7. 国際文献社との業務契約について（藤田主一理事長）
・特になし。
8. その他
・特になし。

Ⅱ　審議事項

1. 決算の件（宇部弘子事務局長）
・特になし。
2. 予算の件（宇部弘子事務局長）
・通帳残高の確認があった。
3. 優秀大会発表賞の推薦方法の件（伊坂裕子委員長）
・特になし。
4. 日本応用心理学会若手会員研究奨励賞の件（古屋健委員長）
・特になし。
5. 機関誌，大会発表論文集の電子化・公開の件（藤田主一理事長）
・特になし。
6. 「応用心理士」認定見直しの件（外島裕委員長）
・特になし。
7. 新入会員審査および会員異動に関する件（宇部弘子事務局長）
・院生会員 1 名の申請が承認された。
山口慎史（敬称略）
・一般会員 2 名の申請が承認された。
大塚徹，中嶋葉子（敬称略）

* 次回の常任理事会は 12 月に行う予定である。